

動物種鑑別（遺伝子検査）



DNA による肉種・骨種の鑑別

検査項目名；動物種鑑別（遺伝子検査）

検査方法；核酸クロマトグラフィーを用いた遺伝子検出法

納期；約一週間

必要量；肉で耳かき一杯程度、骨で3×3 mm程度で検査可能
（異物が小さい場合は検体の返却ができません。）

- ・鑑別できる動物種はウシ、ニワトリ、ブタ、ウマ、ヒツジ、ウサギの6種
- ・加工肉（ハムやソーセージなど）も判定可能です。
- ・数種類の肉が含まれていても一度の試験で判定可能です。（合挽肉など）
- ・0.01%の高い検出感度（例：牛肉10 kgに豚肉1 gの混入であっても検出可能）

こんな場合にもご相談ください！

- 1) ビーフ100%のパーティを仕入れたが、ほんとに他の肉は混ざってないか確認したい。
- 2) ブタを原材料として使用した製品と同じラインで生産した他の製品に、
ブタのコンタミがないか確認したい。
- 3) 消費者への安心・信頼の提供として、表示に偽装がないことを確認したい。
- 4) ハラル対応食を製造しており、ブタ由来のDNAが含まれていないことを証明したい。

《注意》

2種類の肉を使った合挽肉から出てきた骨片には双方の肉のDNAが染み込んでいるため、2種類の遺伝子が検出される可能性が高く、どちらの骨かは判別できない場合があります。また、各種動物由来の抽出エキスやコラーゲンなどの加工製品については、DNAが分解・除去されていて混入の有無や動物種の特定ができない可能性があります。この場合、当該動物を原料として使用していないことの証明にはならない点に注意が必要となります。さらに、検体中のDNAが損傷している場合や、DNA抽出又は酵素反応を阻害する物質が含まれている場合、分析不能となることがあります。



是非ご活用ください！！

厚生労働省登録検査機関(食品衛生法)

ISO/IEC 17025:2017 認定試験所 認定番号 87001

株式会社日本食品エコロジー研究所

〒651-0082 神戸市中央区小野浜町1番9号

TEL. (078) 321-2311 FAX. (078) 321-3066

ホームページからのお問い合わせも受け付けております。

E-mail: jife-inq@hugp.com

URL: <https://jife.co.jp>

